



2005 ITU ASTC Asian Triathlon Championship Singapore



2005 ITU・ASTC アジア選手権シンガポール大会 7月3日(日)

男子はエリート、アンダー23 とともにメダルを独占。

女子はエリートで関根明子が2位、アンダー23 で上田藍が優勝

2005ITUアジアトライアスロン選手権は7月3日(日)、シンガポール・イーストコーストパーク特設コースで、エリートの部とアンダー23の部が行われた。

午前11時スタートの男子は、平野司(関西大学)がスイムを最初に終え、クリス・ヒル(オーストラリア)、山本良介(トヨタ車体)、山本淳一(K's-Y・稲毛 ITC) 細田雄一(グリーンタワー・稲毛 ITC)、ダニール・サブノフ(カザフスタン)、がすぐ続く展開。バイクでは、山本良介、山本淳一、細田雄一、平野司、ヒルが先頭集団をつくって逃げた。西内洋行(福島県協会)は、バイク1周回目でパンクし、順位を下げた。トップ集団名は後続を引き離し、ランへと突入。ランではヒルが先行し、日本選手が追う展開。そのままヒルがリードを保って、1位となったが、ヒルはアジア地域外の選手で、山本淳一がアジア選手権の優勝者となった。2位には細田、3位には山本良介が入り、エリート男子はメダルを独占。山本淳一は、「昨年、結婚して家庭を持ったことが勝因です。アスリートはトレーニングだけでなく食生活も大切ですから」と、手放しの喜びようだった。

午後12時10分にスタートの女子は、ピップ・テイラー(オーストラリア)がスイムで先行。その後に、忽那静香(日東紅茶 TEAM KEN'S A&A)、庭田清美(アシックス・ザバス)、関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)、高木美里(湘南ベルマーレ)が続いた。志垣めぐみ(旭化成 L&L(株) サンラップ)はスイム途中で、レースを離れた。バイクでは、忽那、テイラー、ワン・ホンニ(中国)を交えた7名の集団がトップに立ち、そのままランへ。ランでは、飛び出したテイラーをワンが追走、この二人を日本選手が追う展開。終盤でワンがテイラーをかわし、アジア選手権優勝を飾った。関根は2位で銀メダルを獲得した。関根は、「本来の調子が出なかった」と悔しさをコメントした。

同時開催のアジア選手権アンダー23の部は、男子が平松幸紘(立命館大学)が優勝。2位に馬立賢治(明治大学)、3位に東野翔(関西大学)が入り、メダルを独占した。平松は、「最近、ランが良かったので勝ててうれしい」とコメント。女子は、上田藍(グリーンタワー・稲毛 ITC)が優勝し、2位には田中敬子(チームゴーヤー)が入った。上田は、「故障から立ち直ったばかりで、走れたからホッとした。今後のレースを本調子で戦う」と語った。

また、エイジグループは、24-29歳の部で安藤健太(大阪府協会)が優勝。30-34歳の部で伊藤功顕(神奈川県連合)が優勝。40-44歳の部で岩田隆俊(岐阜県連合)が2位、60歳以上の部で中野昭二(東京都連合)が2位に入った。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

